

2025 年度 事業計画

公益社団法人 日本広告制作協会（OAC）

運営方針

➤ 社会に貢献する OAC、デザインの価値を高める OAC へ

昨年の事業計画では「相談される制作会社、相談されるOACへ」をテーマに掲げました。

そして実際に企業や団体からの相談や、個人クリエイターや制作会社からの相談にも真摯に対応し、抱える課題の解決に努めることができました。引続きこのテーマは継続しつつも、2025年度は更に広く社会との協調を図り、デザイン・クリエイティブのチカラで社会に貢献し、且つ「デザインの価値」を高めていく活動に邁進する年にしたいと思います。相談される存在であり続けること、セミナーを含め貴重な情報を提供し続けること、デザイン・クリエイティブのチカラで社会に貢献できる姿を実際に見てもらうこと、価値のあるデザインを提供する会員社が存在すること、そんな強い意志をもったクリエイター同士が横の連携を図ることで、更に価値ある団体になれると信じています。

この実現に向けて動き、魅力ある OAC を社会に PR する工夫を重ねながら、共に歩いていける会員の増強にも努めてまいります。またデザインの価値を高めるために、他の広告関連団体とも連携し社会に働きかけてまいります。

➤ デザインの価値を高め、その価値を発揮する人材を育成する

「相談される制作会社、協会」・そして「社会をデザインする OAC」であり続けるためにも、次世代経営幹部、若手クリエイター、そして今後この業界に入ってくる学生の育成に注力していきます。

課題の発見と企画・解決力、そしてアウトプットの向上

ともすれば、提示された課題ありきでその解決に向かうのが従来のクリエイターだったと思います。

しかし、今後もそのまま受け身の姿勢で良いのか。昨年開催した「未来を拓くニッポン・デザイン展」は、デザインが持つ大きな役割と価値を日本の文化を見直し改めて社会に示す企画でした。これは会員の皆さんが自ら課題を設定し、そのアウトプットまで行った一例です。また、課題が発生する前に、それを防ぐ方法はないのかを考えることも、今後は重要かもしれません。受け身で待つことからこうなったら良いという姿を思い浮かべることが出来るように、そして考え抜いた上でのアウトプット段階では、制作表現はもとより、会社経営においてもその指針や方向性の提示は、広告同様に共感し人を動かすものであってほしいものです。クリエイター、経営者とも新たな変革ができるように、様々な施策を通して実現に向かいたいと思います。

2025年度方針を実施・運営していく体制について

各委員会は連動し、運営してまいります。

相談される OAC（コンサル活動）

昨年度も掲げた「相談される OAC」は、理事会メンバーを中心に、全会員社が関わる活動として本年度も継続してまいります。デザインの価値を通して、その範囲を自治体や、中小企業などへと広げ、地域社会に関わる皆さんの健全な発展、公正かつ自由な経済活動の機会の確保及び活性化につなげることを目的とし、その相談窓口となり、その活動支援に向かいます。

クリボラ委員会（クリエイティブ・ボランティア委員会）

クリエイティブのチカラで社会貢献する事業を更に進めていく年といたします。その実践を通して、デザイン・クリエイティブの価値を社会に広めていくことを目的に、三陸鉄道（三陸沿岸支援）・東京ハイヤー・タクシー協会とのコラボによるタクシー業界という2つの公共交通機関への支援、そして能登半島地震にて仮設住宅に暮らす方の「心のケア」に繋がる支援を計画し、実行に移します。

経営委員会

様々なリスクヘッジ、AI の今後、売るという行為、クライアントが望むクリエイティブとは等、今という時代を捉えつつ、より変化に対応できる制作会社経営のあり方を探るセミナーや勉強会を実施いたします。

次世代育成委員会

本委員会では若手クリエイターや広告を学ぶ学生がデザイン思考を深め、そのアウトプットに関わる様々なスキルを向上させる場や闊達な意見交換の場を設けていきます。若手クリエイターが参加しやすく、交流できる場を創ることは今後の OAC には欠かせないことと捉えています。

プロフェッショナル委員会

昨年新設した委員会ですが、経営委員会と組み「選ばれる制作会社、クリエイターとは」と題した勉強会の開催等を通じ、求められるこれからのプロフェッショナル像を模索してきました。本年度は更に多くの方との接点を増やしつつ、セミナー等で今後のプロフェッショナルのあり方を問いかけていく年にしたいと思います。

PR 委員会

PR 委員会には、会員社にとって有益な情報を発信し OAC に加盟していることの意義を理解してもらう側面と、広く社会に OAC の活動を認知してもらう側面があります。常にこの両面を睨みながらも、本年度はデザインの価値を高め、社会をデザインしていく OAC の魅力を各事業を通して発信し、会員増強の一助となるべく努めてまいります。

【各事業内容について】

クリエイティブ・デザインのチカラで、日本を元気に。クリエイター自身を元気に！

— デザインの価値を高め、社会に発信するcriボラ事業（公益事業） —

1. 石川県輪島市 仮設住宅に暮らす方々に「心和むカレンダー」を！

能登半島地震・豪雨被害で被災された方への支援活動を開始します。

東日本大震災後に岩手県大槌町の仮設住宅に暮らす方々にカレンダーをお贈りし続けたように、輪島市においても同様の活動を開始いたします。現在輪島市には、52カ所2,897 戸の仮設住宅があり、慣れない仮設住宅での暮らしに少しでも心和むカレンダーで「心のケア」に繋がってほしいと考えています。今年度はクリエイターが主体となって制作いたしますが、復興には時間が掛かります。次年度以降は、次代を担う地元輪島市の小学生とコラボし、彼らが輪島の良さを見直す機会にも繋げ、且つ仮設住宅に暮らす方々に元気を届ける主体として活動してもらえるよう働きかけていく予定です。

2. 三陸鉄道ならびに沿岸市町村支援カレンダー制作

（三陸鉄道イーハトーブカレンダー2026）

今回は、宮沢賢治の物語に登場する動・植物をテーマに広く公募し、制作していきます。

またカレンダーの完成時に走行するギャラリー列車では、同じくカレンダーに取り上げた動・植物を地元岩手県の子どもたちに描いてもらい、それを展示する計画です。三陸や三陸鉄道を愛する全国の方にはもちろん、地元の子どもたちが三陸鉄道への愛着を更に深めてもらうキッカケづくりに動き出します。

3. 「一行タクシー」（東京ハイヤー・タクシー協会とのコラボレーション）

2025 年もタクシーの車体にタクシーへの共感を醸成する一行のコピーをラッピングし、東京の街を走る「一行タクシー」の企画が決定しました。2019 年に初実施以来、コロナ禍の中止期間はあったものの、2022 年、2023 年、2024 年と開催し、今回で 5 回目となります。

全国から公募するコピーの数も昨年は 1 万 7 千を超え、この企画も定着してきたようです。

4. 相談される OAC（コンサル活動）

本活動は、昨年より開始し相談を受ける機会も増えてまいりました。更に相談を受けるようになるためにも、実際の各事業への取り組みを PR していくことが必要です。そのためにも、各事業を真摯に取り組み、実（じつ）のある団体だと認知いただけるよう、まずは努めてまいります。その上で、相談を受けた際はスピード感を持って対応してまいります。

また、当協会を知ってもらうことが前提となりますので、OAC サイトを更に充実させ当協会の事業内容を深く認識いただけるよう努めてまいります。

5. 第9回 想いを伝えるカードデザイン大賞 2025

どうしたら送る相手に伝えたい想いが伝わるか。共感してもらえるか。

これは広告と同様であり、OAC としてはコミュニケーションのあり方をいま一度見直す機会にもなるはずと始めたカードデザイン大賞。今回で9回目を迎えます。当初は一般の方の参加も多かったのですが、現在は学生さんの参加が主体となっています。一般の方、そしてプロのデザイナー方も共感をもって伝える、伝わる作品をお待ちいたします。

6. 第14回 OAC 学生広告クリエイティブアワード 2025

学生を対象にした本アワードは、課題解決力の向上を目的に、実際の企業より課題をいただき実施してまいりました。今回はまだ企画段階ですが、新聞協会様とのコラボレーションも計画しています。グラフィック部門は従来ポスター想定でしたが、「新聞」媒体で表現する試みを模索しています。課題の本質を探り、それをどう表現するか。残念ながら課題の意味合いを捉えきれず、見た目のレイアウトに注力する部分が多いのが実態ですが、本アワードを通じ、学生時代より課題解決の思考を学び、その上で表現に向ってもらいたいと思います。

7. アイデアで社会をデザインするコンテスト（仮称）

一昨年 2023 年度まで「アイデアで社会をより良くするコンテスト」として 12 回実施してきましたが、昨年 2024 年は更に内容を充実させたく見直しのために一旦休止し、検討を重ねてきました。「自ら課題を考え、自らその解決策を考える」。このコンセプトが教育現場のニーズに当てはまり、学校の授業としても取り上げられ、毎回多くの応募をいただいていたこともあり、コンセプトはそのままに、

1. 課題を取り上げた視点・課題の分析・企画アイデア発想力・解決策
 2. 上記の解決策をより多くの方に、伝え巻き込む表現（動画やポスター等）「伝えるチカラ」
- この両面で学生の皆さんにチャレンジしてもらおう機会としたいと思います。

一次選考を経て、最終選考時にはそのプレゼンテーションも行っていく計画です。

従来との一番の変化は、当協会らしく表現部分まで行うこと、またコミュニケーションの一環としてプレゼンテーションまで行ってもらおうことです。

初年度、最終選考はZOOMでの開催を計画していますが、ゆくゆくはリアル開催を目指し、学生や教職員同士の交流も図れて、更に次の一步に歩み出せるコンテストにしていきたいと思います。

健全で変化に柔軟に対応できる経営と、次世代の人材育成を目指して！

— **社会に貢献できる組織・人材の育成のための研修事業等（公益事業）** —

1. 経営セミナー・勉強会の実施

より柔軟に変化に対応できる会社経営、相談される制作会社となるべく今後の制作会社のあり方を探っていきます。現在の経営者はもとより若手の経営幹部への参加を促し、より良い経営をデザインするセミナーや勉強会の場を設け、経営上の課題解決に向かいます。

- ・ リスクマネジメント
- ・ AI の今後
- ・ クライアントの望むクリエイティブとは
- ・ 「売る」行為に関する考察 等々をテーマに開催を計画していきます。

2. 若手クリエイターを中心としたアウトプットのためのスキルアップセミナー開催

Illustrator・Photoshop の最新機能・作業効率アップ、AI の活用等、最新技術を学ぶ場を設けます。基本的にスキルを中心にした講座内容となりますが、目的は作業効率を図り、表現以前の本質を探り、検討・企画発想する時間に多くを費やす方向になることを念頭に置いています。

3. 若手クリエイターを中心とした「CREATOR FEST」の開催

昨年久方ぶりに開催した「CREATOR FEST」は、多忙な日常から少し離れ、会社の中だけでは得られない知識や新たな発見と場です。若手クリエイターの皆さんが、テーマである「これからのプロフェッショナルとは何か？」を考え、意見を述べ合いお互いが刺激を受け合う場となりました。またその後の交流会でも初対面とは思えない繋がりが出来たようです。2025 年度は東京と名古屋での開催を計画しています。「集い、話すことによって生まれる価値」を体験する機会を創出します。

4. クリエイターの今後のプロフェッショナルのあり方を考える

誰もがデザインや映像をつくる時代。そんな時代のプロフェッショナルとは何だろう。デザインの価値を高めていくためにも、創るクリエイターや制作会社が一般の方々とは異なり、真の意味でのプロフェッショナルであるべきと考えます。それには何が必要なのか。昨年来、討議・検討を重ねてきた内容を今年度はセミナー形式等で、会員社はもとより、学校関係者にも参加いただき、今後の人材育成等の指針となるよう努めます。

5. 学生（学校）支援活動

クリエイティブ業界を目指す就活生への一助として、業界や仕事内容を知ってもらうために、若手クリエイターによるパネルディスカッションや採用担当者による採用基準などの話など開催してきました。本年もその内容は検討しつつ、学校内では得られ難いこと等、学校関係者の皆さんと共に考え、支援していこうと思います。

また、必要に応じ「学校と制作会社の情報交換会」や横の繋がりが薄いと言われる「専門学校同士の情報交換会」など、検討し実施してまいります。

6. 講師派遣・学生広告団体（東広連）支援

専門学校の学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会への参加。ならびに講師派遣依頼への対応を行います。また、東京学生広告研究団体連盟（東広連）活動の支援（ワークショップやセミナーの開催）ならびに同団体の学生広告展の審査協力を行ってまいります。

7. 広告関係団体との情報交換

広告関係団体との情報交換を行い、共に「デザイン・クリエイティブの価値」を高めていけるよう、想いを同じくする団体とのネットワーク化を推し進めます。また、情報交換で得た有益な情報やセミナー開催に関してはその共有に努めます。

会員企業相互の発展のために

1. CREATOR2026 誌の監修 (収益事業)

毎年12月に宣伝会議社より発刊しているCREATOR誌の監修。自社ブランディングを捉え直す機会として、そして自社をアピールする機会として会員各社にとっては貴重な場となっていると思います。また学生にとっては制作会社を知るために、そしてクライアントサイドはパートナー探しのための情報源として活用されています。今年度はCREATOR2026として発刊を予定し、内容のより一層の充実を図ります。

2. E&O 保険の継続 (共益事業)

E&O とは Errors「過失」、Omissions「怠慢」の略語で、職務の遂行上の過失や怠慢によって顧客等の第三者に経済的な損害を与えた事に起因し、法律上の賠償責任を負う事によって生じた損害を補償します。OAC 独自の本保険は、主にデータ入力ミスや著作権に関して活用され、現在16社の会員社が加入。新たに参加を検討される方は事務局までお問い合わせください。

3. ビジネス交流会 (共益事業)

新会員の紹介や各会員社の得意分野などを知る場とし、会員相互のビジネスが発展していける機会を創出したいと考えています。従来は新会員社のプレゼンテーションを中心に会社を紹介いただいていたましたが、基本路線は踏襲しつつも、既存の会員社もアピールする機会に出来ればと、今後内容を模索していきます。

4. コンテンツ東京 2025 への出展

当協会が後援もしているコンテンツ東京。2025年は7月2日(水)~4日(金)東京ビッグサイト西棟で開催されます。会員社も多数参加予定ですが、当協会もブースをお借りし、出展している会員社ブースへの誘導や、出展されていない会員社の紹介なども合わせて行えればと考えています。また昨年は当協会ブースを訪れ、興味・関心を持っていただいた方からの入会申込みや、付き合える制作会社を探しているとの声を受け、その場で何社かの候補を紹介したケースがあります。今回も、制作会社のパートナーをお探しの方には真摯に対応し、且つ当協会を知らない制作会社の方には、デザインの価値を共に高め、制作会社同士の横の繋がりが力になっていることなど、伝えていければと思います。

以上、2025年度事業計画といたします。